

子宮頸がんのこと どのくらい知っている？

子宮頸がん検診を受けましょう

Q 子宮頸がんってどんな病気？

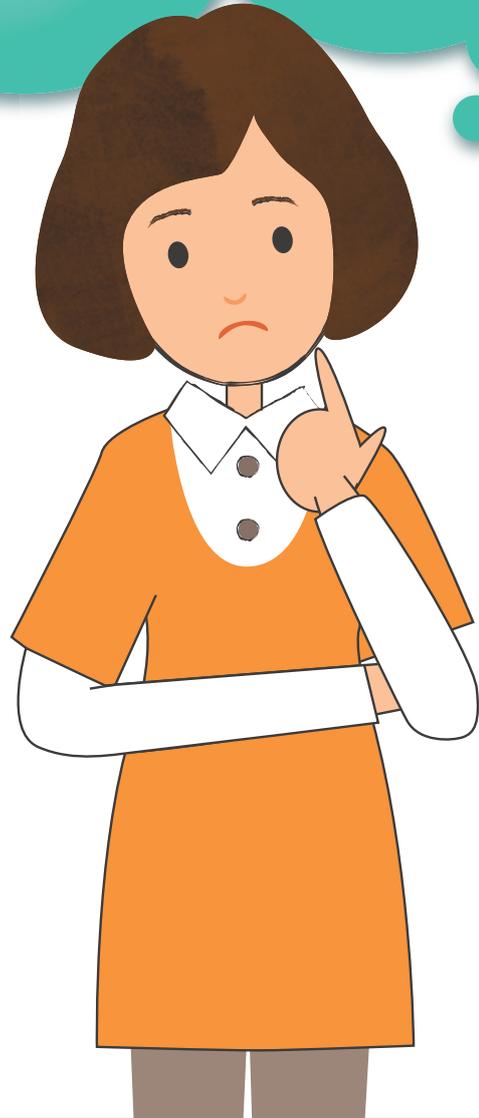
A 子宮頸がんは、子宮の入り口付近にできるがんです。20歳から30歳代の若い女性に増えています。初期症状がほとんどなく、自分で気づきにくい病気です。

Q どうしてかかるの？

A HPV（ヒトパピローマウイルス）という性交渉で感染するウイルスが主な原因です。ほとんどが無症状で90%以上は2年以内に検出されなくなりますが、性交渉の経験のある女性なら誰でも感染している可能性があります。

Q 予防や対策はあるの？

A HPVワクチン接種でウイルスの感染を予防することが重要です。ただし、HPVワクチンで防げないタイプのウイルスもありますので、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。検診で早期に発見すれば、比較的治療しやすく予後の良いがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要です。



自身のために
大切な人のために
今、私ができること



北九州市が実施する 子宮頸がん検診

問診 視診・内診 細胞診

対象者 職場等で子宮頸がん検診を受ける機会がない
市内在住の20歳以上の女性 回数 1年度に1回 受診料 1,000円

区	医療機関名	所在地	電話番号
門司	いわさクリニック	大里原町 10-10	371-1131
	婦人科女性内科みながわクリニック	柳町 1-9-6	381-0371
	末永産婦人科麻酔科医院	港町 6-15	321-2453
小倉北	行徳クリニック	京町 1-2-24-7F	511-3838
	ほりたレディースクリニック	京町 3-1-1 地下1階	513-4122
	haloクリニック小倉	鍛冶町 1-1-1-3F	512-8086
	濱口産婦人科クリニック	清水 2-14-20	561-0776
	みつもとクリニック	船場町 3-5-3F	511-1200
	レディースクリニックくわのみきこ 近藤ウイメンズクリニック	船場町 4-27-4F 米町 1-1-21-6F	533-5855 511-3881
小倉南	熊谷医院	葛原本町 3-5-7	471-7077
	宗産婦人科医院	中曽根 6-9-30	471-2700
	みちおかレディースクリニック 幸の鳥医院	徳力 2-22-28 徳力新町 1-20-16	963-0317 962-1113

区	医療機関名	所在地	電話番号
若松	ひろた産婦人科クリニック	高須西 1-1-14	742-5010
	七条 本田クリニック	荒生田 3-3-28	651-2274
八幡東	井上産婦人科医院	末広町 3-6	671-2195
	ルナクリニック	菅原町 2-13	645-1315
八幡西	さとうレディースクリニック	鷹の巣 1-11-5	631-3543
	有吉産婦人科医院	鷹の巣 2-7-30	631-5846
	井上産婦人科クリニック	黒崎 1-3-4	621-5608
	セントマザー産婦人科医院	折尾 4-9-12	601-2000
	エンゼル病院	友田 1-11-1	601-3511
	あきた産科婦人科クリニック	則松 7-21-1	601-2121
	大塚産婦人科クリニック	千代ヶ崎 2-2-12	603-8811
	荒牧産婦人科医院	本城東 5-5-3	692-0303
戸畑	本田産婦人科クリニック	一枝 2-1-16	482-5720
	安藤ゆきこレディースクリニック	境川 2-16-10	871-5254



無料クーポンを利用しよう

20歳になられた方に子宮頸がん検診を「無料」で受診できるクーポンを送付いたします。クーポンを活用してみよう！



北九州市 無料クーポン 検索



詳しくはこちら



子宮頸がんワクチン

小学校6年生から高校1年生相当の女性の方は子宮頸がんワクチンを公費で接種することができます。

また、平成9年度から平成20年度に生まれた女性のうち令和4年度から令和6年度までに1回以上接種した方は、令和8年3月31日まで残りの回数を公費で接種できます。



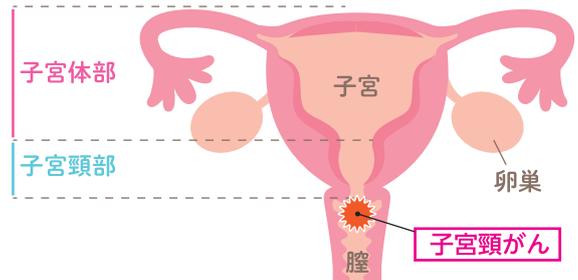
詳しくはこちら

子宮頸がんとは？

- ・日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- ・また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、1年間に約1,000人います。

子宮頸がんにかかるのはなぜ？

- ・子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。
- ・HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因と考えられています。
- ・感染は、主に性的接触によって起こり、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれています。



子宮頸がんの進行



子宮頸がんで苦しまないために

HPVワクチンを受けた方も、検診をお忘れなく！

- 1) HPVワクチン ● HPVの感染を予防します
- 2) 子宮頸がん検診 ● がんを早期発見し治療します
● 20歳以上の方は、国は2年に1回
北九州市は1年に1回

- ・ワクチンで防げないHPV感染もあるため、子宮頸がん検診を定期的に受診することが大切です。
- ・HPV感染は主に性的接触により起こります。

HPVワクチンの効果とリスク

- ・HPVワクチンは、HPVの感染を予防します。また、子宮頸がんを予防する効果があることも分かっています。公費で受けられるHPVワクチンは、子宮頸がんの原因の50～70%（9価ワクチンは80～90%）を防ぎます。
- ・HPVワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることがあります。また、広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまう）といった多様な症状が報告されています。

※接種後に体調の変化が現れたら、まずは接種を受けた医療機関などの医師にご相談ください。HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関をお住まいの都道府県ごとに設置しています。協力医療機関の受診については、接種を受けた医師またはかかりつけの医師にご相談ください。